

北九州 市議会 だより

PRESS

No. 145

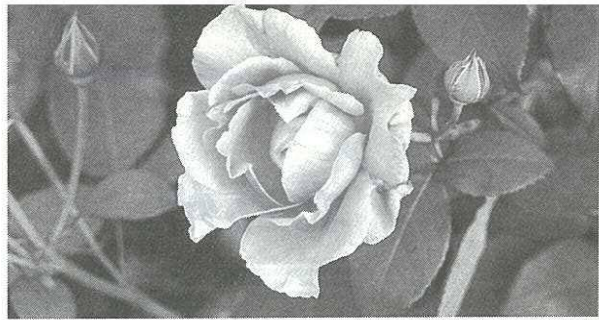
平成11年4月15日号
(年4回発行)

2月定例会で11年度当初予算などを可決

おもな内容	ページ
本会議での質疑	2～5
市議会の新しい構成	6～7
予算特別委員会での質疑	6～7
請願・陳情と意見書など	8



車椅子バスケットボール



2月定例会

本会議の質問と答弁

2月定例会は、2月24日から3月29日まで開かれました。市長から82件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。また、議員から提出された議案は23件で、うち20件を可決しました。

本会議では、各会派から次の21人の議員が質疑を行いました。(発言順) ※発言時の会派名で掲載

三原 征彦 (自民市民クラブ)	香月 耕治 (自民市民クラブ)
石田 康高 (日本共産党)	平田 勝利 (公明党)
上田 唯之 (自由民主党)	福島 司 (社市民連合)
吉河 節郎 (公明党)	新上 健一 (自民市民クラブ)
安藤 正道 (市民クラブ)	江島 勉 (民主党)
田仲 一雅 (市民クラブ)	堀口 勝孝 (市民クラブ)
原田 照男 (社市民連合)	森 浩明 (新しい風)
木村 正幸 (市民クラブ)	小野 臣博 (公明党)
原田 里美 (日本共産党)	柳井 誠 (日本共産党)
宮田 義高 (市民クラブ)	野依 勇武 (日本共産党)
城戸 武光 (自由民主党)	

平成十一年度予算編成の基本的な考え方とその特色は?

議員 十一年度予算が本市経済の活性化に真に貢献することを期待するがどうか。

また、予算編成にあたっての基本的な考え方とその特色は。

市長 十一年度予算案は、国の十五カ月予算に連動した切れ目のない経済対策が可能となるよう、過去最大規模の年間総合予算とした。

これにより公共事業や各種の経済対策の円滑な実施が可能となり、市民の期待に応えられると考えている。

予算の編成方針は、①地域経済対策、②少子・高齢化社会対策、③教育、④環境施策、⑤市民生活に身近な施策、⑥都市基盤整備、の六つの柱を立てている。これにより、市民生活を支える

施策を一層充実するとともに、本市の新しい時代を創り出す都市基盤や仕組みに関する施策を積極的に推進したい。

健全な財政運営を!

▼ルネッサンス構想第三次実施計画▲

議員 各自治体が深刻な財源不足に陥るなか、本市も一層効率の良い財政運営に努めなければならない。そこで、本市の財政見直しや市債残高、今後の市債依存をどのようにとらえて、策定中のルネッサンス構想第三次実施計画に反映させるのか。

市長 第一期、二期も、常に財源を考え、ゼロベイス予算編成や行財政改革、国や民間資金の積極的な導入、さらに有利な起債の利用などを行ってきた。その結果、本市の財政状況は厳しいものの、財政の硬直化を計る公債費比率は政令市中最低で、相

対的には健全性を維持している。現時点は、第三次実施計画の策定に支障がある状況ではないが、必要な施策を行うことと、将来の負担については、常に考慮しながら計画を進めたい。

行財政改革の

効果は?

議員 長引く景気低迷のなか

財政の硬直化を避けるためにも、これまでに引き続き行財政改革を積極的に進めるべきである。八年度から十年度までの三十九年の改革の効果額は、目標を上回る見込みとのことだが、どのくらいか。また、十一年度の主な取り組みはなにか。

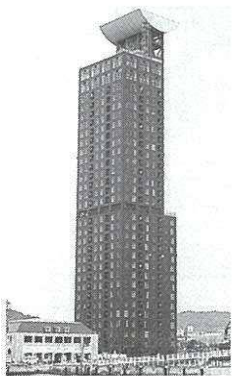
総務局長 三十九年の見直し効果額は、約二百二十三億円と目標を大きく上回る見込みであり、十一年度も、新規二十四件を

含む六十二件の見直しで、約四十億円の効果を見込んでいる。主な取り組みとしては、十年度からの継続である区役所市民課窓口業務の嘱託化推進等に加え、新たに区役所の税証明発行窓口の集約化、区役所で行っている法人市民税等の課税事務の本庁集約、交通局営業所の統合等があげられる。今後とも、積極的に行財政改革に取り組み、効率的な財政運営に努めたい。

日本初登場! アイステア(情報潜望鏡) ▶門司港レトロ展望室◀

11年4月オープンの門司港レトロ展望室について、議員から、「入場者の見込み数やリピート客の確保策は」との質問がありました。

経済局長は、「展望室は、地上103mの高さから、関門海峡や北九州市・下関市が一望でき、11年度は、約35万人の入場者を見込んでいる。景色に合わせて画面を動かすと、その場所に由来する歴史や観光情報が画像で紹介されるアイステア(情報潜望鏡)が日本で初めて設置されるなど、近隣の展望室にない特色を持たせている。利用しやすい料金設定とイベントの開催などにより、リピート客の確保を図り、レトロ地区の新たなシンボルとしたい」と答えました。



人権啓発センター その運営形態と 中身は？

議員 四月から小倉北区の毎日会館内に開設される「人権啓発センター」の運営形態と事業内容について伺う。また、相談窓口を開設することだが、相談員の人選はどうするのか。

保健福祉センターは市直営とし、**社局長**で、現在の同和対策部啓発課を移設するとともに、新たな事業を行うための職員と専任の人権相談員を配置したい。

その業務内容等については、現在行っている人権啓発業務に加え、人権・同和問題に関する図書や資料の充実、人権ホームページ開設による情報提供等に積極的に取り組む。

組みたい。また、市民が気軽に閲覧できるライブラリーコーナー設置など、人権啓発の活動拠点としてふさわしい施設を目指したい。相談員には幅広い見識と経験を有した人材が望ましいことから、人権問題にも深くかかわっている人権擁護委員会にお願いしたい。

新たに始めます！

NPPOへの 支援事業

議員 NPPO（民間非営利組織）支援策として、来年度から特定非営利活動促進事業に取り組みとのことだが、内容と目的はなにか。

市長 この事業は、特定非営利活動促進法（NPPO法）の施行を契機に取り組みの

である。

まず、NPPOに関する相談に適切に対処し、情報の収集・提供を行う相談室を十一年度に開設する。さらに、NPPO法人に対する税の支援策として、収益事業を営まない場合に限り、法人市民税を減免することとしている。

なお、本年二月に庁内連絡協議会を設置したが、これは、NPPO活動の促進に係る関係局・区間の連絡調整を行うものである。これらの取り組みを通して、NPPO活動の促進を図ってきたい。

徹底した調査を！

▼三井鉱山の不法投棄▲

議員 二月十八日、若松区の敷地内で、タール状の物質の入った約七十本のドラム缶が埋められていることが明らかにされた。ほかにも不法投棄の可能性があり、市は、徹底した調査と厳正な対応を行うべきだが、今後の方針は。

環境局

市は、三井鉱山に対し、発覚した廃棄物の嚴重管理とその他の不法投棄の有無について、早急かつ徹底した調査の実施を求めている。あわせて、今回発見された廃棄物の内容と有害物質の有無、さらには、周辺土壌の分析を急いでいる。

まずは、これらを明らかにし、そのうえで不法投棄の時期、原因、実行行為等事実の解明と周辺への影響などの調査結果に基づいて、

法律に照らし厳正に対処したい。

明るく安全なまちづくり

街灯整備事業

▼その整備計画とは▲

議員 夜間も明るく安全に通ることができる道路を実現するため、十一年度から、街路灯・生活街路灯の新設や防犯灯補助制度の拡充を行うとのことだが、市民の安全確保の面で高く評価している。これらの事業は、今後どのように進められるのか。

建設局

当事業は、市民要望を踏まえ、全市で設置の必要箇所や街灯の種類などの調査を行い、総事業費を含めた詳細な実施計画を策定し進めることとしている。全体の設置灯数は、九千灯前後を見込んでおり、市民要望が強いため五年程度で整備したい。また、各区の生活道路等調整会議で必要性・緊急性などを総合的に検討し、順次整備を行う。

どうなるの？

門司・大里本町の開発

議員

大里本町地区のサッポロビール門司工場や旧国鉄清算事業団用地を中心とする約二十分の区域を、土地区画整理事業により再整備する協議が進められている。地域の活力を取り戻すため、来年に迫ったサッポロビールの工場閉鎖と同時に開発に着手できるよう事業を進め、大勢

の人で賑わうような街づくりをし、開発の今後のスケジュール、ビール園のほかに予定している施設等について尋ねる。

市長

十一年度前半には、組合設立準備委員会を発足させ、できるだけ早く施工区域等の都市計画決定を行い、十二年度の事業着手を目指している。施設はビール園のほか海峽をテーマとする商業・アミューズメント施設、地元商店街との回遊通路やウォーターフロントを活用した市民交流スペース、海峽を望む都市型住宅等を検討している。また、国道199号は拡幅を計画し、門司駅の改築はJR九州に働きかけている。

ケナフを環境行政のシンボルに！

木材パルプに代わる紙の原料として注目されているケナフは、二酸化炭素の吸収率に優れ、温暖化防止に効果があるほか、水質浄化作用もあることから地球環境に優しい植物とされています。

11年度の新規事業にケナフの試験栽培と利用方法の調査研究があがっていることに関連して、議員から「ケナフを使った商品が実用化されているが、商品化に対する助成や市民啓発について、どう考えているのか」との質問がありました。

環境局長は、「本格的に事業化するには、栽培地や販売ルートの確保、採算性などいろんな課題を整理して解決していかなければならない。ケナフについては事業化を視野に入れた研究会や環境教育の実践など大きな動きがあり、これらの取り組みをみながら普及・啓発も含め可能な支援・協力を行っていきたい」と答えました。



破線(---)内は、門司区大里本町地区の開発予定地

国道199号

元気な 商店街づくり

議員

消費の低迷で、商店街は深刻な打撃を受けており、早急な支援が必要である。

商店街振興のため、来年度行う空き店舗対策や、イベント補助などの施策はどのようなものか。

経済局長

従来あった空き店舗対策の補助制度を拡充し、新規開業者や多店舗展開を図る既存の中小企業者に対しても、賃借料を補助することとした。

議員

これと連動して、新規開業を促すために養成講座を新設して開業に必要な知識や技能の習得を支援し、講座修了者等を対象とする開業支援資金融資制度を創設した。

イベント補助は、幅広い年齢の消費者を対象としたものや、地域の伝統を生かしたものなど商店街のイメージアップにつながるイベントを公募により選定し、PR経費などを助成するもので、元気な商店街づくりにつなげたい。

教育環境の 改善に向けて

▼中高一貫教育▲

議員

教育環境の改善に向けて、中高一貫教育の導入が検討されているが、具体的な取り組みはどうか。また、どのような方針で行うのか。

教育長 本市教育委員会では、

十一年度早期に、学識経験者、中学校や高等学校の校長、保護者代表等十五名程度で構成する「中高一貫教育研究会」を設置し、本市の実態に即した中高一貫教育の設置形態や特色ある教育内容等について、導入を視野に入れながら研究することとしている。

検討にあたっては、子供たちの個性を、ゆとりある教育の中ではくくむことを方針とした。

市民が納得できる 公共事業を！

▼公共事業の評価▲

議員

スリムで効率的な市政の実現のため、公共事業の在り方については特にその必要性・効率性を検証し、市民が納得できるものにする必要がある。

先の市長選で公約に掲げた公共事業の新たな評価制度では、どのようなシステムを考えているのか。

市長

公共事業については、構想から実施まで様々な検討を行い、毎年の予算編成で厳しく査定したうえで議会の審議も経ている。しかし、現在の厳しい財政事情では、より一層の重点化・効率化が求められている。

そこで、今年一月には、国の補助事業を評価する公共事業再評価委員会を設置し、二月末に審議結果を公表した。

新たな評価制度では、市のすべでの事業を対象とし、評価基準を定めて、事業の必要度、緊急度、費用対効果を徹底的に評価し、一

層の重点化、効率化を図りたい。

これら評価の内容や組織、実施時期などについて、現在内部で検討を進めているが、有識者等で組織する評価委員会を設置し、既存施設のストック活用もあわせて検討していく体制を作りたい。

できるだけ安い 港湾利用料金に！

▼響灘ハブポート▲

議員

響灘ハブポートの実現を目指す本市物流の最大拠点となるよう期待されている。国際競争力のある港としてうまく軌道にのせていくには港湾利用料金の安い港にシフトしてはならないが、どのような検討がされているのか。

港長

安い料金の港づくりに向けて、①施設使用料

の算定基礎となる施設整備費を安くするため、荷役機械の一括発注などを実施すること、②安い荷役料金と迅速確実な荷役サービス提供のため、地元港運業者などによる研究会を発足させ、民間企業の共同荷役体制、三交替制などを研究すること、③タクポートや網取りなどポートサービスにかかる経費低減のため、地元企業と事業共同化に取り組むことなど港費を構成する項目ごとに一つ一つ検討を行い、国際競争力のある港の実現に努めたい。

環境未来都市を
めざして

エコタウン事業

議員

本市では全国に先駆けエコタウン事業に取り組んでいるが、事業全体の投資額

環境未来都市を めざして

▼エコタウン事業▲

議員

本市では全国に先駆けエコタウン事業に取り組んでいるが、事業全体の投資額

進む長崎街道木屋瀬宿の整備

▶木屋瀬街づくり拠点施設▲

11年度に、歴史学習と地域コミュニティの機能をもつ木屋瀬街づくり拠点施設の建設が始まります。



木屋瀬盆踊

議員から、「宿場の文化拠点施設として地元住民との深いかわりが必要だが、地元住民による活用

についてどのように考えているのか」との問いに、教育長は、「当施設は、①歴史・文化の保存・継承、②街づくり活動の拠点、③町並み保存のシンボル、として計画を進めてきた。地元との協議では、木屋瀬宿場祭り、祇園太鼓などの伝統文化の継承・育成や、長崎街道シンポジウムなど広域交流の場として利用して欲しいと提案した。

今後十分協議を重ね、地元根付いた、誰もが利用しやすい、コミュニティ交流機能を発揮できる施設づくりを行いたい」と答えました。



西日本ペットボトルリサイクル株式会社 (若松区響町)

や雇用はどのくらいか、そして今後、どのように展開していくのか。

市長

事業の総投資額は、約六百億円、雇用される従業員・研究者は約八百人を見込んでいる。本市のエコタウン計画の特徴は、実証研究分野と実業分野からなることである。実証研究分野では、福岡大学の研究所開設以来、高まる廃棄物分野の研究ニーズに対応して新規施設の立地希望が持ち込まれており、引き続き誘致や支援を行っていききたい。実業分野の総合環境コンピナーでは、ペットボトル・OA機器に続く廃自動車・廃家電のリサイクル工場の建設も始まり、事業が少しずつ進んでいる。しかし、リサイクルには、費用負担、原料確保、販路拡大など多くの課題がある。これらは民間企業を中心とした研究会で検討されており、市も積極的に支援していききたい。

介護保険

平成12年4月から、介護保険制度がスタートします。今定例会では、介護保険制度について多くの質問が出ました。その中から、いくつかを紹介いたします。

◆「自立」・「要支援」と判定された人への対応は

問 要介護認定の結果、現在、在宅でサービスを受けている人や施設に入所している人が、「自立」や「要支援」となった場合には、サービスが受けられなくなる。これらの人たちにどう対応していくのか。

答 このような介護保険サービスの対象とならない高齢者が地域で継続して自立した生活が送れるよう、ケアハウスやふれあいむら市営住宅などの生活支援施設整備など、必要な施策の充実を図ってきたい。

◆サービス水準の確保・充実をどうする(保険の対象となっていないサービスは)

問 訪問給食サービスや送迎サービスなどの施策は、介護保険によるサービスの対象から除外されているが、サービス水準の確保・充実をどうするのか。

答 対象となっていないサービスをどうするかは、市民ニーズを踏まえた上で各界各層の委員で構成する介護保険事業計画策定委員会で、幅広く議論していただく。さらに、これらのサービスを実施する場合に生じる経費の負担を、介護保険の保険料に求めるのが、一般施策として実施していくのかについても、あわせて議論していただきたいと考えている。

◆保険料負担はどのくらいか

問 65歳以上の人負担する保険料は、厚生省の基準額では月額2,500円だが、新聞報道等では、これを相当上回る自治体が出てきている。本市の保険料はどのくらいになるのか。いつ、どのように決定されるのか。

答 まず、保険料率決定に必要な介護保険サービスの総事業費の算定にあたって、介護保険事業計画策定委員会で多方面からの検討をしていただく。この検討を踏まえ、本年夏頃に予定している介護保険事業計画の中間報告の中で、保険料率案の算定を行いたい。そのうえで、市議会をはじめ、関係者の意見を聴き、最終的には、来年2月の予算議会に、関係条例を提出したい。

◆低所得者対策は

問 低所得者対策として、どのようなことを考えているのか。

答 現在、国では、低所得者に配慮した検討が行われており、保険料については、①所得段階別の保険料の設定、②保険料の弾力化、③保険料の減免などを、利用料については、①食費の負担の軽減、②利用者負担の減免などを検討している。市としては、この様な国の動向を見ながら、対応していきたい。

◆苦情・相談に対する対応は

問 10月から半年間で3万件を超える要介護認定の申請が開始される。開始時の混乱を避けるため、どのような方策を考えているのか。フリーダイヤル電話で市民の相談を受け付けてはどうか。

答 各区の保健福祉センターに、この4月から介護保険係を新設し、理学療法士・作業療法士も配置して、相談・苦情処理に当たるとともに、市民福祉センターにおいても保健婦・ケースワーカーによる地域活動の中で、苦情等に対応するなど、組織をあげて対応したい。
また、(仮称)総合保健福祉センターに、苦情・相談のためのホットラインの開設を予定しているが、フリーダイヤルの導入も実施の方向で検討したい。



小学校の余裕教室を活用した永大丸市民福祉センター (八幡西区)

既存資産の有効活用は?

議員 民間を含めた既存資産の幅広い活用は、行政改革はもとより、地域経済活性化の観点からも時宜を得た政策である。既存資産の活用に関する基本的な考え方と今後の取り組みは、市長 公共の目的で施設を整備する場合、本市の厳しい財政状況などを考えると、これまで以上に民間活力の導入や既存資産の有効活用など、施策の一層の効率化推進が必要である。

こうした観点から、今後取り組む項目として、①民間所有の遊休地や不利用施設の有効利用、②組織の統廃合などにより不要になった公共施設の用途転換、③売却、信託、定期借地など民間参画による市有地の有効活用、④新規に公共施設を建設する際の民間資金・ノウハウの導入などを考えている。

ダイオキシンの対策推進の基本的な考えは?

議員 ダイオキシン問題は、国民の大きな関心を集めており、国においても抑制のため、ダイオキシン対策については、法律で管理対象となっている市内の五十施設はすべて現在の基準値をクリアしている。しかし、このうち約十施設が十四年十二月以降の基準値に適合しないため、今後改善していききたい。法律対象外の小型焼却炉は、市による規制強化を検討し、プラシック製品などの野焼き禁止の指導も徹底したい。環境汚染の状況把握としては、十年前から市内四力所で大気定点観測を始めた。いずれも国の環境指針値を大幅に下回っている。土壌調査は、三月中に示される国の指針を受け、十一年度に市内四力所で実施予定である。

現在、対策の具体化に向けて国の動きも急であり、これを踏まえて、本市の基本的考え方を、今後策定予定の環境基本条例に盛り込みたい。
なお、市民に不安を与えないように、わかりやすい方法で説明するよう努めたい。

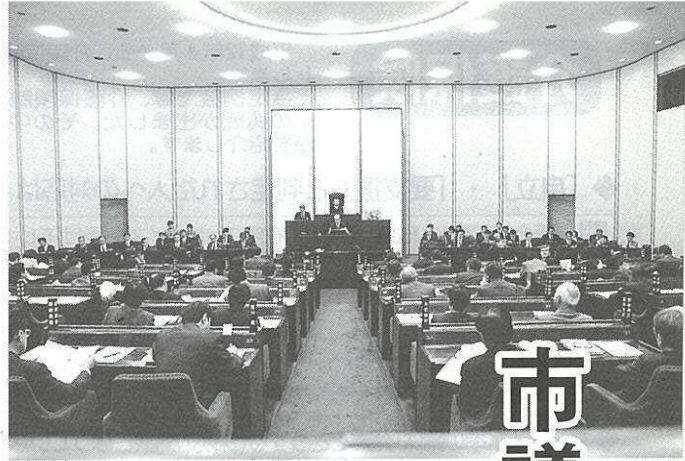
他に、次の項目にわたっても議論がありました

- ルネッサンス構想 第三次実施計画
- 学術・研究都市整備事業
- 若松病院の移転改築、戸畑病院の病棟再編成
- (仮称)総合福祉プラザの整備
- 生活保護行政
- 新北九州空港の整備
- 室町一丁目地区市街地再開発
- 地球温暖化対策
- (仮称)動物のいる自然の森公園
- 門司区役所の移転
- 国道10号曾根バイパスの渋滞対策
- 雨水整備事業
- 東折尾のまちづくり
- 中学校のスポーツ指導者の育成
- 少子化対策

常任委員会

◎ 委員長 ○ 副委員長

総務財政委員会 ◎原田 照男 ○堀口 勝孝 井上 勝二 木村 証 渡辺 謙治 細川 政勝 新上 健一 水町 勝利 桂 茂実 森 浩明 一 所管事項 一 会計室、秘書室 広報室、契約室 検査室、企画局 総務局、財政局 市民局 他の常任委員会の 所管に属しない事 項	経済港湾委員会 ◎城戸 武光 ○加来 茂幸 吉尾 計治 浜田 順 荒川 徹 田村 貴昭 平田 勝利 安藤 正道 重田 幸吉 馬場 一榮 松井 克演 一 所管事項 一 経済局 港湾局 農業委員会	厚生消防委員会 ◎小野 臣博 ○有馬 和子 上田 唯一 田仲 雅一 武智 弘 香月 耕治 原田 里美 高尾 新一 泊 正明 世 俊明 一 所管事項 一 保健福祉局 消防局 病院局
環境教育委員会 ◎野依 勇武 ○赤松 文雄 三村 善茂 蔵田 博 佐々木 健五 戸町 武弘 吉田 進 柳井 誠 中川 壽 春田 篤 三宅 まゆみ 一 所管事項 一 環境局 北九州大学 教育委員会	建設交通委員会 ◎三原 征彦 ○梶野 皓生 木村 正幸 河崎 誠 平山 政智 石田 高郎 吉河 節郎 西 豊磨 佐藤 昭紀 福島 司勉 一 所管事項 一 建設局 交通局	建築水道委員会 ◎後藤 俊秀 ○長野 敏彦 木下 憲定 中島 慎一 片山 尹治 鷹井 勝志 生 博道 原 和生 橋本 優一 木村 義高 宮田 一 所管事項 一 建築都市局 水道局



市議会の

新しい構成決まる

(11・3・29現在)

議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項等について調査や審査を行います。

◎委員長 ○副委員長

◎	◎
馬泊荒石戸蔵梶木	佐々木
場 川田町田野村	木
一正 康武 皓優健	
榮明徹高弘博生一五	

予算特別委員会

市長質疑から

3月15日に設置された予算特別委員会は、3つの分科会に分かれて、審査を行いました。3月23日に行われた市長との質疑の中から、いくつかを紹介します。

●近隣の市町村に対する協力

Q 焼却灰の処理・下水道の終末処理・上水の供給など、北九州都市圏・近隣の市町村に対する協力の基本的方針は。
A ルネッサンス計画により、北部九州の拠点都市として、広域的な事業を進めるといふ基本的な枠組みは出来ている。しかし、個別の問題については、市民や市議会の理解を得ながら、進めていきたい。

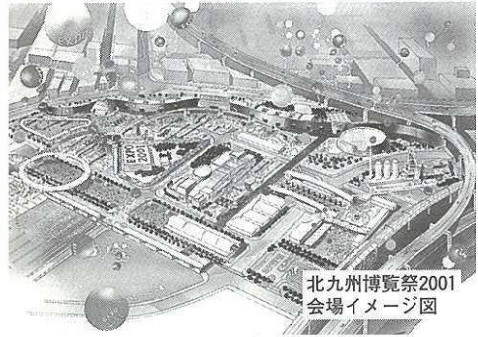
●産業廃棄物処理場の煙害問題

Q 水巻町の産業廃棄物処理業者の煙害により、八幡西区民の健康への影響が懸念される。県の管轄ではあるが、本市の今後の対応は。
A 県に対して、再三指導強化を要請しており、今後の動向を見ながら対応していく。住民の不安に伝えるため、実施した大気調査の結果は、地元代表者に説明したが、四月に説明会も予定している。土壌調査も行う予定で、その結果等によっては、健康調査の実施も検討したい。今後も県に対し、行政指導を要請していきたい。

●公害克服資料館の建設

Q 本市の公害克服の歴史や取り組みを紹介するため、北九州博覧祭二〇〇一の会場内(八幡東区東田地区)に恒久的な資料館を建設してはどうか。

A 博覧祭の基本的な考え方の中に、本市の姿を「産業・技術」「環境」の視点から世界に発信しようというものがあり、環境パビリオンの設置は是非必要だと思っている。後に残す施設を考えているが、内容や形態は今後具体的に検討したい。



北九州博覧祭2001会場イメージ図

会派の構成

◎ 代表者

◎三村 善茂 木村 正幸 上野 唯之 梶野 皓生 城戸 武光 河崎 誠一 田仲 雅二 井上 計二 吉尾 憲定 木下 順治 渡辺 治 蔵田 讓博 細川 政勝	◎井生 猛志 武智 俊弘 後藤 健五 佐々木 五 新上 健一 戸町 武弘 香月 耕治 加来 彦幸 中原 一 片山 慎一 鷹山 勝 吉田 通生 平山 政智	◎野依 勇武 石田 康高 水町 勝利 荒川 徹 田村 昭 原田 貴昭 有馬 里美 柳井 和博 橋本 生道	◎吉河 節郎 高尾 新一 平田 勝利 西野 豊利 小野 臣博 木村 優一 桂茂 文雄 赤松 文雄	◎佐藤 昭紀 義高 孝 堀口 勝孝 堀口 正明 泊藤 正道 安藤 幸吉 重田 幸吉 中川 壽	◎春田 篤 原田 照男 長野 敏彦 馬場 一榮 福島 司	◎松井 克演 世良 俊明 江島 勉	◎三宅まゆみ 森 浩明
会 議	自 民 党	日 産 党	公 明 党	市 民 21	社 民 党	民 主 党	新 しい 風

特別委員会

◎ 委員長 ○ 副委員長

◎梶野 皓生 ○宮田 義高 木村 正幸 渡辺 讓一 中島 慎志 井生 猛高 石田 康高 野依 勇武 吉河 節郎 春田 篤	◎泊 正明 ○荒川 徹 井上 勝二 吉尾 計 鷹木 勝治 平山 政智 原田 里美 小野 俊博 世良 明 三宅まゆみ	◎桂 茂実 ○福島 善茂 三村 政勝 細川 武弘 戸町 通生 吉田 勝利 水町 文雄 赤松 昭紀 佐藤 勉 江島 勉
大 都 市 税 財 政 制 度 確 立 等 特 別 委 員 会	産 業 活 性 化 対 策 特 別 委 員 会	少 子 ・ 高 齢 化 社 会 対 策 特 別 委 員 会
◎梶野 皓生 ○宮田 義高 木村 正幸 渡辺 讓一 中島 慎志 井生 猛高 石田 康高 野依 勇武 吉河 節郎 春田 篤	◎泊 正明 ○荒川 徹 井上 勝二 吉尾 計 鷹木 勝治 平山 政智 原田 里美 小野 俊博 世良 明 三宅まゆみ	◎桂 茂実 ○福島 善茂 三村 政勝 細川 武弘 戸町 通生 吉田 勝利 水町 文雄 赤松 昭紀 佐藤 勉 江島 勉
— 調査事件 — ● 大都市税財政制度の確立について ● 地方分権の推進について ● 北九州博覧祭2001について	— 調査事件 — ● 産業活性化対策について ● 観光都市の形成について	— 調査事件 — ● 高齢化社会対策について ● 介護保険制度について ● 少子化対策について ● 男女共同参画社会の形成について
環 境 都 市 づ くり 対 策 特 別 委 員 会	都 市 開 発 ・ 都 市 交 通 対 策 特 別 委 員 会	ま ち づ くり 推 進 対 策 特 別 委 員 会
◎原 博道 ○西 豊磨 城戸 武光 田仲 一雅 佐々木 健五 加来 茂幸 片山 幸一 田村 貴昭 重田 幸吉 原田 照男	◎新上 健一 ○柳井 誠誠 河崎 博彦 蔵田 征和 三原 生一 橋本 優一 木村 壽一 中川 榮一 馬場 公井 克演	◎香月 耕治 ○上田 唯之 木下 憲定 浜田 順治 後藤 俊秀 有馬 和子 平田 勝利 堀口 勝孝 長野 敏彦 森 浩明
— 調査事件 — ● 環境ホルモン等の対策について ● エコタウン事業の推進について ● 生活環境の整備について	— 調査事件 — ● 物流及び広域交通ネットワークについて ● 学術・研究都市の形成について ● 都心・副都心の整備について	— 調査事件 — ● 地域コミュニティの推進について ● ボランティア活動の推進について ● 地域文化の振興について

● 東九州自動車道の早期整備

Q 市内の測量、地質調査及び設計は十年度に完了しており、これから地元関係者との協議を行い、十二年度から用地買収に取り組みたいとのことだが、十七年の新北九州空港の開港に間に合うのか。

A 今のところ順調に進んでおり、市としては、今後補償物件の調査や用地交渉と並行して文化財調査を行うなど、作業の前倒しを行うとともに、工事用道路の早期整備や用地取得事務を道路公団から受託するなど、全面的な支援体制を整えている。

● 河川文化交流施設(小倉北区船場地区)の整備

Q 整備構想の内容とスケジュールは。

A 内容は、地下の施設へ河川観察窓などを設置して、河川の水中を直接見ることができるようにし、また、紫川や市内の河川情報、防炎情報をリアルタイムに知ることができるような仕組みを考えている。民間との協力により進め、十一年度の早期に着工し、十二年度には完成する予定である。

● (仮称)すくすく懇談会

Q 「(仮称)すくすく懇談会」のあり方は。

A 今後の最重要課題である少子化対策は、保健、福祉、医療のほかに教育や住宅、公園等の生活環境整備とも関わりがある。これらの課題整理にあたっては、市民との意見交換会や意識調査を行い、それをもとに、学識経験者、福祉・教育関係者や市民代表からなる「(仮称)すくすく懇談会」の中で改めて幅広く議論を行い、その趣旨を「(仮称)新子どもプラン」に反映させたい。

● (仮称)動物のいる自然の森公園

Q 到津遊園の再整備に向けた検討の状況は。また運営方法についての考えは。

A 検討委員会において、公園の基本理念を「市民と自然を結ぶ窓口」とし、郷土の動物と世界の動物に分け、森林などを活用して、自然に近い形で見せる手法などが検討されている。市民が支える動物園として、市民や企業の協力が得られるような運営方法を考えており、今後、市民の意見、要望を聞く場を設けたい。



到津遊園

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国等へ提出することができます。

今定例会では、13件の意見書・決議が提出され、うち10件を可決しました。その件名を紹介します。

- 適正・迅速な裁判の実現を求める意見書
- 国立病院・療養所の機能強化に関する意見書
- 児童に対する医療費助成制度の創設を求める意見書
- 児童手当制度の拡充を求める意見書
- 国民健康保険事業への県補助金の増額を求める意見書
- 福祉医療制度に対する県費補助の改善を求める意見書
- PCBの保管に関する意見書
- 福原学園の問題解決促進を求める意見書
- 地方税源の充実に関する意見書
- 遠賀川の水質保全に関する決議

ホームページへ アクセス！

○北九州市議会では、市議会のしくみや活動状況などをお知らせするため、昨年12月にホームページを開設しました。

○主な内容

- 選挙区別議員名簿
- 会派一覧
- 議会制度の紹介
- 定例会・臨時会の会期日程
- 委員会の開催日程
- 定例会・臨時会の会議結果
- 委員会紹介
- 請願・陳情
- 傍聴案内

アドレス

<http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>
(北九州市のホームページからもアクセスできます。)

どうぞご覧下さい！

☎ 詳しいお問い合わせは、
市議会事務局調査課
(☎582-2632) まで

市議会でおな-⑦



請願・陳情の審議結果

- 請願「保育所調理業務の民間委託化撤回について」 《不採択》
 - 請願「興仁保育所の整備、拡充について」のうち第二項 《不採択》
 - 請願「保育所調理業務の民間委託化撤回等について」のうち第一項 《不採択》
 - 請願「保育行政の充実について」のうち第三項 《不採択》
 - 陳情「NTTの一〇四電話番号案内の夜間・早朝サービス廃止計画の撤回等を求める意見書の提出について」 《不採択》
 - 陳情「日本長期信用銀行への税金投入に反対する決議について」 《不採択》
 - 陳情「国会証人喚問時の動画によるテレビ中継許可を求める決議について」 《不採択》
 - 陳情「市立保育所給食調理業務の民間委託化撤回について」 《不採択》
 - 陳情「市立保育所の給食調理業務の民間委託化撤回等について」のうち第一項 《不採択》
 - 陳情「祇園保育所、前田保育所乳児部、前田保育所幼児部の三所統合の見直しについて」 《不採択》
 - 陳情「国立病院・療養所の存続と機能の充実、強化を求める意見書の提出について」 《採択》
- このほか、請願51件、陳情71件は継続審査になりました。

お知らせ

- ▼市議会たよりに関するお問い合わせやご意見、ご感想をお寄せ下さい。
- ▼次の定例会は、六月に開催します。